

申 緑が丘

自主
健康
友愛



←学校HP
はこちら

まなびフェスト（年度末評価）について

数値は、肯定的回答の割合（A+B）を示しています。

A：あてはまる B：あてはまるほうだ C：あまりあてはまらない D：あてはまらない

	学校の取組	生徒の姿	家庭の協力
自主	わかりやすい授業 ・「いわての授業づくり3つの視点」に即した授業実践 ・学習内容定着を意図した個別最適な学びの実現 【教職員】80%(A:20% B:60%)	自ら学ぼうとする 【生徒自身】90%(A:44% B:46%) 【教職員から見て】90%(A:20% B:70%)	学習時間の設定 ・家庭学習を始める時刻の習慣化 【保護者】23%(A:2% B:21%)
	調べ学習、対話的な授業 ・学習の振り返りの授業への位置付け ・協働的な学びの場面 【教職員】80%(A:10% B:70%)	学び方がわかる 【生徒自身】81%(A:38% B:43%) 【教職員から見て】50%(A:0% B:50%)	一緒にノーマディア ・火曜日を原則として、約束の時間に1時間以上メディアから離れた、学習や読書、団らんの場の設定 【保護者】21%(A:0% B:21%)
	授業と連動した家庭学習 ・授業内容の定着や学習内容の反復を意図した課題の設定 【教職員】60%(A:10% B:50%)	自己評価し、取組改善する 【生徒自身】78%(A:27% B:51%) 【教職員から見て】70%(A:0% B:70%)	通知票（家庭欄）への励まし記載 ・得意を伸ばし、苦手にも向き合える励まし 【保護者】83%(A:60% B:23%)
	給食・清掃指導の充実 ・役割が分かり、目的的に行動できるように指導 【教職員】100%(A:45% B:55%)	生活リズムが整っている 【生徒自身】82%(A:37% B:45%) 【教職員から見て】100%(A:9% B:91%)	家庭での役割を持つ ・いないと困る役割と「ありがとう！」 【保護者】67%(A:34% B:33%)
健康	防災（危機管理）学習の充実 ・生きる力につながる防災訓練や避難訓練の計画的実施 【教職員】100%(A:64% B:36%)	安全感覚を備えている 【生徒自身】97%(A:67% B:30%) 【教職員から見て】100%(A:36% B:64%)	地域防災についての話し合い ・身の回りの整理整頓の推進 ・緊急時避難先の確認 【保護者】52%(A:8% B:44%)
	教育相談、生活アドバイスの徹底 ・やりとり帳やアンケートへの対応 ・SOSの出し方指導の実施 【教職員】100%(A:73% B:27%)	心身が健康である 【生徒自身】99%(A:67% B:32%) 【教職員から見て】100%(A:27% B:73%)	必要時の早期治療 ・感染症予防など心身の健康の保持増進 ・徒歩通学の実施 【保護者】83%(A:44% B:39%)
	2往復以上の声がけの推進 ・集団におけるコミュニケーションの場の設定 ・健康観察の充実と共有（報告・連絡・相談） 【教職員】82%(A:55% B:27%)	良好な対人関係をつくる 【生徒自身】94%(A:75% B:19%) 【教職員から見て】82%(A:9% B:73%)	8つのあいさつや返事の継続 【あいさつ】「おはよう」「いただきます」「ごちそうさま」「行ってきます」「ただいま」「おやすみなさい」 【返事】「はい」「ありがとう（ごめんなさい）」 【保護者】88%(A:30% B:58%)
友愛	活躍の場の保障 ・校内での役割の充実 ・大会や作品応募などの機会の確保 【教職員】100%(A:91% B:9%)	自分のよさが分かる 【生徒自身】68%(A:30% B:38%) 【教職員から見て】55%(A:0% B:55%)	会話・対話 ・目を合わせた会話の推進 【保護者】94%(A:48% B:46%)
	各種活動への参加の支援 ・呼びかけの推進 ・生徒発案事業の支援 【教職員】100%(A:55% B:45%)	ボランティアに参加しようとする 【生徒自身】90%(A:17% B:73%) 【教職員から見て】90%(A:40% B:50%)	褒める・励ます ・地域との接点の支援 【保護者】96%(A:36% B:60%)

<学校経営に関する保護者評価>

【自主】自ら考え、進んで学習する生徒 肯定的回答77%

保護者の皆様より（自由記述 一部抜粋）

- 家庭学習の時間（最低〇時間やる事など）を決めてほしい。
- 分からないところをそのままにせず、調べたり、先生や友達に聞くことができればよい。
- 進んで学習しようとしている事は分かるが、テストの点数につながっていない。
- 学力の底上げをしないと、学ぶことに貪欲な生徒は岩泉から出ていくしかなくなる。

学習面については、厳しいご指摘を多くいただきました。量的（学習時間、ページ数）に課題を与えるだけでは、やらされる学習に終始し、本当の力がつかないと考え、「授業と家庭学習の連動」「小テストや単元テストを活用した『できる実感』の保障」「次の学びにつながる『振り返り』」などに取り組んでまいりましたが、十分とは言えない評価をいただきました。今後の改善に向けて教職員で協議し取り組んでまいります。

【健康】たくましい心身を持ち、実践力のある生徒 肯定的回答83%

保護者の皆様より（自由記述 一部抜粋）

- 教室も校内のトイレも綺麗に清掃されていて、生徒たちの頑張りがうかがえる。
- 毎日早起きして登校することは、当たり前かもしれないが褒めてあげたいと思う。
- 部活動を休むことなく頑張っていたと思う。
- 部活動の時間以外でも身体を動かせる何かがないか。

「当たり前」だと言われることをしっかりやる。このことを認めて褒めてくださる保護者の皆様が多く嬉しく思います。「清掃活動」については、教職員の年度末反省会でも話題になり、ボランティア活動等と併せて、さらに質の高い取組にしていきたいと考えております。「情報メディア」との関わりについては、誹謗中傷や仲間外しなどのいじめ、生活リズムの乱れなど、心配される事案が発生しておりますので、学校においても情報メディア教育の充実を図ってまいりますので、ご家庭における協力も引き続きお願いします。

【友愛】郷土を愛し、心豊かな生徒 肯定的回答87%

保護者の皆様より（自由記述 一部抜粋）

- ボランティアに参加したいと自分から希望したこと、挨拶を心がけていることなど、先生が生徒をよく見て指導してくれている。
- 広い学区になったが、各地区の伝統が生徒たちに引き継がれるよう、これからもよろしくお願ひしたい。

コロナ禍で制限されていたボランティアなど地域での活動場面が増えてきました。また岩中太鼓を立ち上げ、地域の行事やイベントでも演奏機会をいただいています。郷土のよさを知り、地域の皆様とともに教育活動を展開できるよう努めてまいります。

学校運営協議会委員の皆様から

2月13日（月）、第3回学校運営協議会を開催しました。その中で、まなびフェストや学校経営に関する保護者評価の結果について、委員の皆様からご意見やご感想をいただきましたので、一部を紹介いたします。

- ・学習習慣や学力について、もっと学校の考え方を保護者に伝え、協力をいただきながら進めた方がよい。
- ・家庭学習については、自主学習を行わせるにせよ、学校で計画を立てさせてから帰宅させるなど、さらにきめ細やかな手立てが必要である。
- ・情報メディア教育については、保護者も学ぶ機会をつくるのが大切である。
- ・マスクなしの生活が戻れば、もっとお互いの表情を読み合い、コミュニケーションの力が高まるのではないか。
- ・岩中太鼓の取組は素晴らしい。今後、地域で発表できる機会が増えるとよい。